

留学期間

4 か月（2019 年 8 月 26 日～12 月 14 日）

派遣先大学

ロチェスター工科大学（アメリカ）

必要経費

【渡米前に必要な経費】	
査証取得費用	¥23,000
予防接種費用	¥20,000
往復航空代	¥254,000
海外旅行保険料	¥124,000
【渡米後に必要な経費】	
図書・学用品	¥18,000
携帯料金	¥18,000
その他雑費・おこづかい	¥100,000
【派遣先大学へ納入する諸費用】	
食費	¥310,000
保険料	¥97,000
PC レンタル料	¥40,000
小計	¥986,000
派遣留学修学支援金	△ ¥250,000
こぶし会支援金	△ ¥250,000
合計（実費）	¥486,000

このプログラムを選んだ理由

このプログラムは、大学を休学することなく半年間英語の勉強をすることができる、という点に魅力を感じ、このプログラムを選んだ。また、RIT には多くの先輩方が留学していたため事前調査がしっかりとできる、という点も良いと思った。

現地での学習内容について

留学期間を過ごしたロチェスター工科大学附属の英語学校（以下 ELC）では、学期はじめに英語力を調べるテストを受けなければならない。ELC で受けることのできる授業で、重点的に学ぶことのできるものは①英語の読み書き、②聞き取りとスピーキング、③英文法である。

高校の時、私は文法が苦手だったが ELC で文法を学ぶことで英文法を理解できるようになった。また、学期はじめの英語テストが良いと、大学の講義を選択できるようになる。私は、秋学期に Manufacturing Processes という授業を受け、機械工作の基本となる部分を学ぶことができた。

学習以外に取り組んだ活動について

課外活動として、ロボットクラブに所属し、毎週土曜日のミーティングに参加していた。金沢工業大学で所属しているロボットプロジェクトと大きく異なることは、RIT のロボットクラブは主にボランティア活動をしているという点である。また、授業外のプログラムとして、International Conversation Partner Program というものがあり、1 週間に最低 1 時間はペアと会話を行うというものに参加し、ネイティブイングリッシュスピーカーとの会話を楽しんでいた。

宿舎について

RIT の寮はトイレとシャワーが共用だったため、初めのうちはとても不便に感じた。また、寮に入っている学生はミールプランに入らなければいけないので、毎日学内のダイニングホールで食事することになる。毎日ダイニングを利用するとすると、メニューが決まってしまうため、途中で飽きてしまい大変だった。しかし事前のハウジングのルームメイトマッチングに関するアンケートをきちんと入力していたおかげか、ルームメイトとの関係は良く、時間の合うときなどは一緒にご飯を食べに行くことがあった。

最も印象に残っていること

ロチェスターは自然が豊かなせいか、野生の動物をたくさん目撃した。ほぼ毎日のようにリスと顔を合わせ、シャトルバスや車に乗れば、シカや水鳥が横断していた。水鳥に至ってはかなりゆっくり横断するので、しばらくの間通行止めになることがあった。しかし、ロチェスターの人々は、水鳥の横断を車から温かく見守っていたので、こちらの心が温められた。

この大学のおすすめポイント

ロチェスター工科大学には、さまざまな国から学びに来ている学生がいるので、イベント毎にいろいろな国の文化を体験することができる。また ELC では、英語で会話する機会をたくさん紹介してもらえるので、積極的に参加することで、より英語を話す機会を得ることができる。

現地で心掛けたこと

私は人見知り気味で、初対面の人や数回しか会わないような人との会話が續かないが、現地ではなるべく会話を弾ませられるように相手への質問などをあらかじめ考えながら会話をするように心がけた。また、同じ寮に住んでいる学生とは積極的にあいさつや少しの会話をするように心がけていた。

留学前後で変わったと感じること

留学前後で最も変化があったと感じるのは、食の好みだ。もともと甘いものが好きで、逆にコーヒーの匂いが苦手だったが、アメリカのスイーツが甘すぎたため甘いものを前ほどたくさん食べることができなくなった。また、甘いものを緩和するためにコーヒーを飲むようになり、今ではコーヒーが好きになった。

留学の成果

前述したとおり私は英語がとても苦手で、英語の文章を読もうとしても集中力が續かず、途中で投げ出すことが多かった。しかし、RIT で英語を勉強するようになり、まず英文法への理解が深まり、またライティングのクラスを通して長い英語の文章を読めるようになったり、書くことができるようになったりした。また、知らない人に道を尋ねることを繰り返していくうちに、コミュニケーション能力が少し上がったと思う。

これから取り組みたいこと

会話中にボキャブラリーがなかなか出てこないことが多いので、英会話をすることができる機会を積極的に見つけて参加していきたい。また、日本でもアメリカでも、発言に自信がなさそう、ということを言われているので、もう少し自信ありそうな話し方ができるように心がけようと思う。

このプログラムへの参加を考えている学生へのメッセージ

すごくいい経験になった。留学を通して、チャンスはたくさんあるが、何らかの行動を起こさないと何も起きないと実感できたので、プログラムへの参加を考えているのなら、考えるだけで終わるのではなく、積極的に参加してみるべきだと思う。また、迷ってチャンスを逃すぐらいなら、留学生の審査で落とされた方がまだ後悔が少なく済むと思う。